

安八交番だより

281

地域で見守りましょう

(高齢者の行方不明事案の防止)

県内では、認知症が原因で高齢者が行方不明となる事案が多くなっています。

早期に発見・保護・身元確認ができるように、以下の事項についてご協力をお願いします。

○認知症を恥と思わず、隠さず、近所の人に知ってもらい、地域で見守り支えあいましょう。

○身に着けるものや持ち物に住所・氏名・電話番号を書いておきましょう。

＊着衣・靴・手帳・杖などへの記名、名札の装着（胸につけると本人が外してしまうことがあるので、襟の裏など本人には見えないところへの取り付けが望ましいです）

○普段から、本人の服装や持ち物を確認する習慣をつけておきましょう。

○事前に顔写真を撮っておくと、いざというときに役立ちます。

○玄関や出入り口に、鈴などの音をするものをつけておきましょう。

○GPS 機能付きの携帯電話などを携帯させましょう。

＊ご家庭で高齢者や認知症の人の所在が分からなくなった場合、迷わず、速やかに最寄の警察にご連絡ください。（暗くなってからの検索は困難です）

＊緊急の場合は 110 番をお願いします。

消防署だより

141

春季全国火災予防運動

平成 31 年 3 月 1 日から 7 日までの 7 日間



平成 30 年、安八町内での火災は 6 件でした。平成 29 年は 15 件だったため、前年に比べ 9 件減りました。皆さんの日ごろの防火意識が大幅な減少につながった要因だと思います。

ただ近年、枯草焼きが原因となった火災が多発しています。一人ひとりが気を付けることで防ぐことができる火災ですので、火の取扱いには十分注意していただきますようご協力をお願いします。

スプレー缶の取扱いについて

殺虫剤、ヘアケア製品などのスプレー缶は、日常頻繁に使用されていると思いますが、こういった製品には可燃性のガスが含まれており、スプレー缶を原因とする火災のほとんどが、誤った使用方法により発生しています。

昨年 12 月に札幌市で発生した爆発事故は、記憶に新しいと思います。

スプレー缶には、噴射剤などが入っています。噴射剤は、可燃性で非常に燃えやすい性質があります。そのため、スプレーは用途に関係なく燃えやすいのです。

スプレー缶には火気と温度に関する注意事項が記載されています。

一般的な「使用上の注意」とは別に、目立つ表示で書かれています。

<スプレー缶の取扱い・保管・廃棄方法>

- 1 炎や火気の近くで使用しないでください。また、炎に向けて使用しないでください。
- 2 火気を使用している室内で大量に使用しないでください。
- 3 高温にすると破裂する危険があるため、火気や暖房器具の近くなどの高温となる場所や、直射日光の当たる場所などを避ける。(40 度以上になるところで保管しない。)
- 4 火の中に入れてください。
- 5 換気を心がけ、風通しの悪い場所、ガスが滞留する場所では使用しないでください。
- 6 やむを得ず使い切らずに捨てる時には、火気のない通気性の良い屋外で残存ガスがなくなるまで噴射し処理してください。
- 7 スプレー缶の処分方法は、各自治体によって異なります。安八町では、スプレー缶は必ず中身を使い切り、ガス抜きをして廃棄してください。